



郷土資料

あれこれ 65

【問合せ】

社会教育課 郷土史編さん係

☎773-2197

大和町公民館の駐車場の片隅に、見慣れぬアンテナの付いた金属製の標柱が立っています（写真1）。銘板を見ると「基本電子基準点」とありました。

この標柱は、GPS衛星から発信された電波を受信し、この地点の位置を観測するための施設だそうです。受信されたデータは国土地理院に毎日転送され、土地の測量、地図の作成、地震・火山噴火予知の基礎資料に利用されているそうです。

「基本電子基準点」は、国土地理院によって全国に約1300か所に設置されていることです。

この他にも測量に用いる経度・緯度・標高の基準となる三角点（測量の基準となる点）や水準点が全国各地に設置されています。三角点は全国に10万か所ほど、水準点は2万か所ほどが主要な道路にそって2kmごとに設置されているそうです。南魚沼市内では、六日町上町の石碑「史跡

追分三国街道清水街道」の隣などで水準点を見ることができ、写真2）し、塩沢の三角点は、塩沢小学校の屋上にあります。

このような全国的な水準点などの設置は、1876年（明治6年）から内務省が行った高低測量（水準測量）などが始まりです。このとき測量され、基準となった標高には漢字「不」に似た「凡号」と呼ばれる記号が、専用の石柱や標石に刻まれ設置されました。また、既存の不朽物（神社の鳥居や灯籠、狛犬、石碑の台座、欄干など）にも刻まれたそうです。

新潟県内の古い水準点などとしては、柏崎の米山薬師堂の三角点（1885年設置）や、国が阿賀野川を改修した際に設置した阿賀野川基準標石（1915年設置と推定）が知られています。

南魚沼にも古い水準点がないかと、寺社などの石造物や古い石碑の台座等を観察していますが、みかけたことはありません。

水準点などは、道路工事や測量関係の業務に携わる人にはなじみ深いことと思いますので、なにかご存知の人はぜひお知らせください。三角点の地図記号は「△」、電子

基準塔は「▽」、水準点は「□」、石碑は「□」で、地図上で確認することもできます。地域の歴史散策とあわせて見学することも興味深いもの

と思っています。

写真1 基本電子基準点（浦佐）



写真2 追分の石碑と水準点（六日町上町）



《参考》

国土交通省国土地理院ウェブサイト

坂戸城跡石垣修理工事のため 不用品な石材を「寄贈ください」

【問合せ】社会教育課 文化振興係

☎773-3756

市では、国指定史跡坂戸城跡の石垣修理工事を行っています。石が抜き取られた所に新たな石を積み直す予定ですが、石材が不足しています。提供可能な石がありましたら、ぜひ、ご連絡ください。

対象石材

1メートル前後で加工されていない自然石。坂戸周辺で採れた石でなくても構いません。

注意事項

石垣に適しているか石材を調査し、適している場合はご寄贈いただきます。運搬費用は、市で負担します。※詳しくは、お問い合わせください

